

平成26年度 公益財団法人山梨県体育協会事業報告書

I 体育協会の運営

1 理事会等の運営

理事会、評議員会、総務委員会等の諸会議を開催し事業を推進した。

回数	開催年月日	議決事項
第1回 通常理事会	H26. 5. 30	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成25年度事業報告について 2 平成25年度予算の補正及び平成25年度決算について 3 平成26年度予算の補正について 4 山梨県スポーツ少年団本部長及び副本部長の承認について 5 平成26年度定時評議員会の招集について
第1回 臨時理事会	H26. 6. 19	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長、副会長、専務理事の選定について 2 評議員選定委員会委員の選任について
第2回 通常理事会	H26. 8. 1	<ol style="list-style-type: none"> 1 公益財団法人山梨県体育協会表彰について 2 山梨県知事等に対する要望について 3 平成26年度予算の補正について
第3回 通常理事会	H27. 3. 13	<ol style="list-style-type: none"> 1 公益財団法人山梨県体育協会経営計画について 2 公益財団法人山梨県体育協会スポーツ推進計画について 3 平成27年度事業計画について 4 平成27年度収支予算について 5 平成30年第73回国民体育大会冬季大会スケート競技会開催に関する決議について 6 山梨県躰道協会の加盟について 7 諸規程の改正について 8 公益財団法人山梨県体育協会及び加盟団体における倫理に関するガイドラインの制定について 9 平成26年度第1回臨時評議員会の招集について
定時評議員会	H26. 6. 19	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成25年度事業報告について 2 平成25年度決算について 3 平成26年度予算の補正について 4 役員を選任について
第1回 臨時評議員会	H27. 3. 24	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度事業計画について 2 平成27年度収支予算について 3 理事の選任について 4 監事の選任について 5 山梨県躰道協会の加盟について

2 事務局の運営

(1) 本協会が実施する事業推進のための自主財源の確保

①賛助会員の加入拡大に努めた。

②寄附金（免税寄附金）の拡大及び制度の活用促進に努めた。

(2) 総合的人材育成システムの運用

「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上のため、研修会の開催や各種講習会及び資格取得研修への参加等、総合的な人材育成を行うとともに、職員倫理の向上やコンプライアンスの徹底を図った。

(3) 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた事前合宿等誘致の推進

山梨県東京オリンピック・パラリンピック推進本部及び関係加盟団体との情報の共有を図るための連絡体制を整備し、推進本部等が開催した会議、情報交換会、研修会に参加し情報の共有を図った。また、事前合宿等に興味・関心がある加盟競技団体を把握するための意向調査を実施した。

II スポーツの振興

1 専門委員会の開催

スポーツ振興を図る上で必要な事項について検討するため、スポーツ振興委員会等専門委員会を開催し事業を推進した。

2 地域における生涯スポーツの推進

(1) 各種スポーツ大会の開催

①平成26年度第67回夏・秋季 第68回冬季山梨県体育祭りの開催

a 実行委員会総会の開催（第67回夏秋季大会・第68回冬季大会）

平成26年 4月22日（火）

b 第67回夏季大会 6競技 910人

カヌー競技 平成26年5月18日（日） 精進湖カヌー競技場

セーリング競技 平成26年6月15日（日） 山中湖村ヨットハーバー

ボート競技 平成26年6月21日（土） 河口湖漕艇場

少林寺拳法競技 平成26年7月 6日（日） 小瀬スポーツ公園武道館

クレー射撃競技 平成26年8月10日（日） 大月国際射撃場

水泳競技 平成26年8月24日（日） 小瀬スポーツ公園水泳場

c 第67回秋季大会 42競技 8,030人

組合せ抽選会 平成26年7月23日（水）

平成26年 9月13日（土）・14日（日）・21日（日）小瀬スポーツ公園他

開会式 平成26年9月13日（土） 小瀬スポーツ公園武道館

閉会式 平成26年9月21日（日） 小瀬スポーツ公園武道館

d 第68回冬季大会 4競技 529人

スケート競技（フィギュアの部）

平成27年1月11日（日）小瀬スポーツ公園アイスアリーナ

スケート競技（スピードの部）

平成27年2月11日（水）富士急ハイランドセイコーオーバル

スキー競技

平成27年3月15日（日）サンメドウズ清里スキー場

アイスホッケー競技

平成27年3月28日(土)～29日(日) 小瀬スポーツ公園
アイスアリーナ

②スポーツ県やまなし宣言記念事業

県内各地区の代表チームによる県一周駅伝競走大会を開催し、スポーツの普及啓蒙を図った。

a 第51回県一周駅伝競走大会

平成26年12月6日(土)～12月7日(日)

③スポーツ・レクリエーション祭

a 山梨県実行委員会総会の開催

平成26年 4月 8日(火)

b 第26回山梨県スポーツ・レクリエーション祭の開催

平成26年 5月4日(日)・18日(日)、25日(日)

壮年サッカーなど19種目 2協賛種目 参加選手 4,958人

(2) 地域における生涯スポーツの振興

①スポーツ振興ブロック会議の開催

スポーツの振興に関し、県下各市町村の関係者と地域の課題等について意見交換を行った。

メインテーマ 「学校と地域における子どものスポーツ機会の充実」

富士・東部地区 平成26年7月 8日(火) 富士ふれあいセンター

峡東地区 平成26年7月10日(木) 勝沼市民会館

峡南地区 平成26年7月15日(火) 身延総合文化会館

中北地区 平成26年7月17日(木) 北巨摩合同庁舎

②軽スポーツ用具の貸出

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動に対して、軽スポーツ用具の貸出を行った。

(3) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

①広域スポーツセンターの運営

県が設置した広域スポーツセンターを運営し、総合型地域スポーツクラブの創設や運営及びスポーツ活動について支援するとともに、各クラブの連携を図り、クラブの活性化を図った。

広域スポーツセンター運営会議 第1回 平成26年 6月23日(月)

第2回 平成26年 9月24日(水)

第3回 平成27年 2月25日(水)

②総合型地域スポーツクラブの支援・育成

日本体育協会クラブアドバイザーとともに、総合型地域スポーツクラブを訪問し、事業内容の助言および指導を行った。

③総合型地域スポーツクラブの連絡協議・交流

a 総合型地域スポーツクラブフェスティバルの開催

平成26年11月 3日(月) 小瀬スポーツ公園武道館

b 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の支援

3 競技スポーツの推進

(1) 競技力の向上

①競技力向上対策本部の運営

a 本部会議

- 第1回 平成26年 6月26日(木) 競技団体助成事業について 他
- 第2回 平成26年 9月 4日(木) 選手強化費二次配分について 他
- 第3回 平成26年11月11日(火) 選手強化費三次配分について 他
- 第4回 平成27年 3月 3日(火) 平成27年度事業計画について 他

b 理事長・事務局長・主任強化コーチ会議

- 平成26年5月27日(火)、7月8日(火)、11月18日(火)
- 平成27年3月10日(火)

c 競技団体個別会議

- 平成27年2月16日(月)・17日(火)・18日(水)・19日(木)
- 3月10日(火)

②ジュニアアスリート・トータルサポート事業

山梨県内の競技団体に対して、指導者の育成・強化を図る事業、および優秀なジュニアアスリートを発掘し、中学生・高校生までの長期的計画により組織的に育成する事業に対して助成を行った。

③競技団体選手強化事業

a 成年・少年

国民体育大会に向けての候補選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に対し助成を行った。

b 高校生

平成26年度南関東インターハイに向け、本県開催の8競技の強化に対し助成を行った。

④成年チーム指定強化事業

a 重点チーム強化

国民体育大会において優秀な成績を収めるため、重点強化チーム10チームを指定し、強化事業に対し助成を行った。

b 指定チーム強化

成年選手の競技力の維持向上を目指して、大学・企業・クラブチーム17チームを指定し、強化事業に対し助成を行った。

⑤競技団体等強化費助成事業

a 山梨県体育協会特別助成事業

国民体育大会において上位入賞を目的に、将来、全国レベルの有望な選手として活躍できる選手・チームの育成、強化を図るため、競技団体から提案のあった特別な強化、支援事業を競技力向上対策本部会議で助成内容等を協議し、体育協会の自主財源から競技団体等に対して助成を行った。

b 特殊競技用具整備事業

大型で多額の経費を要する備品の整備に対し助成(今年度は該当競技無し)

⑥海外派遣奨励金の交付

日本代表に選ばれ、世界選手権、アジア競技大会、ユニバーシアード競技大会に海外派遣される10個人(6競技)に交付した。

⑦練習場確保事業

県立射撃場の整備凍結に伴う競技団体の練習場確保事業に対し助成を行った。

(2) 国民体育大会の選手等選定及び派遣

予選会を実施し、選手の選考を経て、本県選手団を派遣した。

①第69回関東ブロック大会

中心会期 平成26年 8月22日(金)～24日(日) 栃木県

②第69回国民体育大会

先行開催 平成26年 9月7日(日)～14日(日)
(水泳・カヌー) 長崎県

本大会 平成26年10月12日(土)～10月22日(水) 長崎県

③第70回国民体育大会

冬季大会関東ブロック大会

平成26年12月12日(金)～14日(日) (アイスホッケー) 栃木県

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

平成27年 1月28日(火)～2月 1日(日) 群馬県

冬季大会スキー競技会

平成27年 2月20日(金)～23日(月) 群馬県

④日本スポーツマスターズ2014大会へ参加する監督・選手の日本体育協会への申込みを行った。

平成26年 9月19日(金)～23日(火) 埼玉県

平成26年 8月30日(土)～31日(日) (水泳)

平成26年 9月17日(水)～19日(金) (ゴルフ)

(3) 医・科学サポート

①アンチ・ドーピングの啓発

a アンチ・ドーピング講習会の開催

第1回 平成26年6月14日(土) 14競技団体34名参加

第2回 平成26年6月26日(木) 23競技団体46名参加

b 競技別講習会への講師派遣

要望により選手が多く集まる練習会や合宿に出向き講習を行った。

平成26年 7月31日(木) 女子ソフトボール 17名参加

平成26年11月30日(日) アーチェリー 36名参加

平成27年 1月 5日(月) スケート 16名参加

②国体参加選手の総合的サポート

a 医学的サポート

国体選手(含:関東ブロック大会)から提出された健康調査票を基に、メディカルチェックを実施し、選手の健康管理を行った。

b 科学的サポート

体力・バイオメカニクス関係、栄養関係、心理関係、コンディショニング関係の4分野について、国体参加競技団体を対象に測定、調査、分析し、指導・助言を行った。

c チームドクター制の導入への基盤整備を行った。

③国民体育大会へのスポーツドクターの帯同

国体参加時にスポーツドクターが帯同し、選手の緊急医療時の対応やドーピング関係薬物の対応を行った。

(4) 大会補助事業

①競技団体等主催大会等助成事業

関東大会・全国大会及び国際大会等の開催や本県選手の出場、活躍は本県スポーツの振興に大きく寄与するため、本県開催の関東級以上の6大会に助成した。

(5) スポーツの国際交流

- a 日中スポーツ交流
対象者がなく実施せず。
- b 日韓スポーツ交流
参加予定であった自転車競技の大会が中止となり実施せず。
- c 中国四川省への体育関係者の派遣
日中の社会情勢から実施せず。

4 参加機会の充実

(1) 参加機会の充実

①スポーツ健康づくり教室の開催

生涯スポーツの必要性及び継続して行うことの大切さを理解させるとともに、スポーツや運動をする機会を提供するためテニス教室やバドミントン教室など、スポーツ健康づくり教室を開催した。また、サークル活動等による自主的な活動への発展を促し、スポーツライフを支援した。

別紙「スポーツ教室開催一覧表」参照

②各種スポーツフェスティバルの開催

親子のふれあいを深めるファミリースポーツフェスティバル、子どもが気軽に参加し、共に考え協力して行うこどもスポーツフェスティバル、若い世代からスポーツに慣れ親しみ、継続してスポーツを楽しんでもらうためのヤングスポーツフェスティバル、高齢者のためのシルバースポーツフェスティバルなど、各年齢層に応じたスポーツを楽しむ機会やふれあいの場を提供した。

別紙「大会・イベント開催一覧表」参照

③スポーツイベントの開催

主婦、高齢者を対象としたスポーツイベントの開催要望が多かったため、人気の高いテニス大会、グラウンドゴルフ大会を開催した。

別紙「大会・イベント開催一覧表」参照

④他団体との連携による事業

民間の持っているノウハウ又はネットワーク等を活用し、各年齢層を対象としたスポーツ教室を共催した。また、高齢者の健康体力づくりのため、県下に6つある「山梨ことぶき勸学院」の生徒を対象に運動指導を行った。

(2) 健康・体力づくりの推進

①巡回体力測定、トレーニング指導

各種団体の要望により体力測定を実施し、健康体力づくりに関する意識向上を図った。また、武道館トレーニング室の利用者に対して、目的に応じたトレーニングメニューの提供やスポーツプログラマーや健康運動指導士などの専門スタッフによる適切なアドバイスを行った。

a 巡回体力測定

県内各地に出向いて体力測定を実施し、健康・体力づくりに対する意識向上を図った。

b トレーニング室利用者講習・実技指導

トレーニング室利用者を対象に、安全に利用してもらうための講習会を行い利用登録証を発行した。

また、利用者の目的に応じたトレーニングメニューを提供するとともに、トレーニング効果を高める機器の効果的な使用方法を指導した。

c 体質改善プログラムの提供

メタボリックシンドローム改善の為、体組成器を用い、筋・脂肪割合、体組

成分、メタボリック情報など10項目について評価を行い、それに基づいて適切な運動プログラムを提供した。

②指導者派遣

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動を支援するため、要望に応じ指導者を派遣し、健康・体力づくりの指導を行った。

③軽スポーツ体験の場の提供

山梨県レクリエーション協会との共催により、スポーツの場の提供及びニュースポーツの普及を図る事業を行った。

(3) 医・科学セミナーの開催

平成26年12月21日(月) 小瀬武道館

選手・指導者、スポーツ愛好者等 130名参加

テーマ

パートⅠ 『 スポーツ指導におけるメンタルを考える
～コミュニケーションの観点から～ 』

パートⅡ 『 食事×スポーツ ～なぜ食事は大切なのか？
食事の基本から～ 』

5 少年スポーツの推進

(1) スポーツ少年団の育成

子ども達に地域を基盤としたスポーツの場を提供し、スポーツを計画的、継続的に実践させ、子ども達の健全育成を図るため、スポーツ少年団を組織し、運営を行った。

また、各種大会の開催及び助成を行うとともに各種中央大会へ団員の派遣を行った。

① スポーツ少年大会の開催及び派遣

a 第36回山梨県スポーツ少年大会の開催

平成26年 8月16日(土)～17日(日)

本栖湖青少年スポーツセンター 参加団員47名 指導者9名

b 第45回関東ブロックスポーツ少年大会の開催

平成26年 8月24日(木)～26日(日)

東京都 参加団員0名 指導者0名

(山梨県内の小中学校は、すでに2学期が始業していたため不参加)

c 第52回全国スポーツ少年大会への派遣

平成26年 8月 2日(土)～5日(火)

大阪府 参加団員4名 指導者1名

② スポーツ少年団競技別交流大会の開催及び派遣

a 第33回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の予選会開催へ助成した。

(軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道)

平成26年5月～6月末日 県内各会場

b 第33回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の開催及び派遣助成した。

平成26年 7月25日(金)～27日(日) 神奈川県

c 全国スポーツ少年団競技別交流大会予選会へ助成した。

バレーボール 平成26年11月9日(日) 笛吹市 若彦路体育館

剣道 平成26年12月6日(土) 小瀬スポーツ公園 武道館

d 全国スポーツ少年団競技別交流大会へ出場する選手及び指導者に派遣助成した。

第37回 剣道 平成26年3月27日(金)～29日(日) 埼玉県

- 第12回 バレーボール 平成26年3月28日(土)～30日(月) 福島県
- ③ 第7回山梨県スポーツ少年団フェスティバルの開催
平成26年 4月 5日(土)
山梨中銀スタジアム 他 参加団員540名
- ④ 団員交流事業への助成
- a 県外スポーツ少年団交流大会へ助成
近隣の県外団員との交流を促進し、団活動の活発化を図る大会へ助成した。
- b 県内スポーツ少年団交流大会への助成
県内登録市町村スポーツ少年団の相互の交流を図る大会へ助成した。

6 指導体制の充実

(1) スポーツ指導者の養成

- ①公認スポーツ指導者の養成・確保
- a 公認スポーツ指導員養成講習会
開催競技：軟式野球
- b 公認スポーツ上級スポーツ指導員養成講習会の開催
開催しなかった。
- c スポーツドクターの確保
医・科学委員会との連携と医師の協力のもとスポーツドクターの確保を図った。
- d アスレティックトレーナーの確保
スポーツドクター及びコーチの協力のもと確保を図った。
- e ジュニアスポーツ指導員の確保
スポーツ少年団指導者協議会の協力のもと確保を図った。
- f スポーツ指導者研修会の開催
- 第1回 平成26年 6月 7日(土) 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ
第2回 平成26年10月 4日(土) 塩山ふれあい館
第3回 平成27年 1月24日(土) 富士川町民会館
- ②スポーツ少年団指導者の養成・確保
- a スポーツ少年団認定員養成講習会を開催した。
平成26年 7月19日(土)～20日(日) 小瀬スポーツ公園 武道館
平成26年10月 4日(土)～ 5日(日) 小瀬スポーツ公園 武道館
平成26年11月15日(土)～16日(日) 小瀬スポーツ公園 武道館
- b 認定育成員研修会への派遣
平成26年10月18日(土) 国立オリンピック記念青少年センター
平成26年10月25日(土) 東京エレクトロンホール宮城
- c スポーツ少年団指導者研修会の開催
平成27年1月17日(土) 参加者50名
- d 市町村指導者育成事業
市町村スポーツ少年団指導者の資質向上と指導者組織の整備拡充のため、県内9市町村において、指導者育成事業を実施した。
実施市町村：甲府市、山梨市、甲斐市、笛吹市、北杜市、甲州市、昭和町、富士川町、南都留地区
- e 指導者を中央講習会、研修会への派遣

③スポーツ少年団リーダーの養成

a ジュニア・リーダースクールの開催

将来スポーツ少年団の指導者となる少年リーダーの養成を行った。

平成26年11月22日(土)～23日(日)

緑が丘スポーツ会館 参加者48名

b シニア・リーダー研修会の開催

中学生以上のシニア・リーダー資格取得希望者を対象に県内研修会を開催した。

平成27年 2月14日(土) 小瀬スポーツ公園体育館 参加者9名

c リーダーの派遣

・日本シニア・リーダースクールへの派遣

将来指導者となる青少年リーダーを養成するため団員を派遣した。

平成26年8月7日(木)～11日(月) (4泊5日)

国立青少年交流の家(静岡県) 3名派遣

・関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会への派遣

関東ブロックのスポーツ少年団リーダーの相互研修を通し、山梨県リーダーズクラブ代表者と育成担当指導者の資質向上を図った。

平成26年11月1日(土)～2日(日)

千葉県 団員3名 指導者1名

・全国スポーツ少年団リーダー連絡会への派遣

全国スポーツ少年団リーダーの相互研修のため山梨県リーダーズクラブ代表者及び育成担当指導者を派遣した。

平成26年9月27日(土)～28日(日)

国立オリンピック記念青少年センター(東京都) 各1名派遣

d 山梨県スポーツ少年団リーダー会への助成を行った。

④日独スポーツ少年団同時交流

「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づき、両国が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施することにより、将来における団指導者となるリーダーの研修を図った。

派遣団員 2名

受入市町村 無し(隔年開催)

⑤指導者協議会への助成

a スポーツ指導者協議会の組織の強化充実のため助成を行った。

b スポーツ少年団指導者協議会の組織活動推進のため助成を行った。

7 スポーツの啓発

(1) スポーツ功労者等の表彰

①山梨県下の体育・スポーツの普及と発展に貢献した個人並びに団体を表彰した。

体育功労者75名 特別優秀選手6名 優秀選手49名・優秀団体14団体
特別優秀指導者0名 優秀指導者1名 奨励賞11名

計 142名、14団体

②スポーツ少年団の優良単位団4団、優秀指導者9名を表彰した。

③候補者の選考・推薦を行った。

文部科学省生涯スポーツ功労者、生涯スポーツ優良団体表彰

やまなしスポーツ賞

日本体育協会公認スポーツ指導者表彰

日本スポーツ少年団顕彰優良単位団、優秀指導者
ミズノスポーツメントール賞、日本スポーツグランプリ

(2) 広報活動の推進

- ①情報交換と提供の場として体育協会広報誌「やまなし体協」、スポーツ少年団広報紙「わかば」を発行した。
- ②スポーツ振興事業等の情報提供として「やまなし体協スポーツガイド」を山梨日日新聞に広告掲載した。

(3) スポーツ情報発信事業

- ①やまなしスポーツ情報ネット内にシステム化されている「スポーツ指導者バンク」の運営を行い、スポーツ指導者の登録、紹介を行った。
- ②やまなしスポーツ情報ネットのスポーツ新着情報や大会情報等の更新を行った。

8 スポーツ環境の整備充実

(1) スポーツ施設の管理運営

本協会の目的であるスポーツ振興を図るため、県有体育施設の指定管理者として、施設の管理運営を行った。

施設の管理運営については、本協会加盟団体と連携を図り、職員一人一人がコスト意識を持って経費の節減に努めるとともに、多様なニーズを的確に把握し、より一層のサービスの向上と利用促進に努め、適正かつ公平な管理運営を行った。

①管理受託施設（県又は教育委員会等から受託）

（平成27年度～31年度）

- ・小瀬スポーツ公園、富士北麓公園、八ヶ岳スケートセンター、八代射撃場

（平成23年度～27年度）

- ・本栖湖青少年スポーツセンター、緑が丘スポーツ公園

※本栖湖青少年スポーツセンターは平成28年度富士河口湖町への移譲が決定し、平成26年度で委託は終了となった。

②直営施設

- ・境川自転車競技場

(2) 安全等の確保

①スポーツ傷害見舞金の給付

対象となる選手1名に給付した。

②イベント主催者賠償責任保険加入

賠償責任保険に加入し、本協会が主催する大会及びイベントにおける賠償責任のリスク軽減を図るとともに、併せて加盟市町村体育協会、加盟競技団体のリスク軽減を図った。

③スポーツ安全保険の加入促進

安心してスポーツ活動ができるよう、スポーツ安全保険の加入促進を図った。

III 利用環境・効率の向上

1 各種サービス事業

(1) レストラン・売店・自動販売機等の運営

公園来園者に対する飲食等の便宜供与のため、体育館レストラン・売店における飲食の提供、物品の販売を行うとともに、スケート靴等の貸し出しに係る斡旋業務を行いスポーツの普及支援の担い手として事業を展開した。

①レストランの運営

・営業時間及び営業期間

午前11時から午後2時まで（火曜日は休業）※祝日の場合は営業、翌日休業

・販売品目

食 事 --- ラーメン、カレーライス、ジュースなど常時30品目

・営業日数 273日/年（前年度実績 296日/年）

・提供食数 12,481食/年（前年度実績 13,310食/年）

②売店の運営

イベントや大規模大会等の開催時に売店を開設し、飲食物の販売を行った他、各施設の受付においてスポーツ用具（テニスラケット他）の貸出、テニスボール等の販売など各施設利用者のニーズに応えた販売を行った。

・販売品目

（臨時売店）焼きそば、飲料などを約10品目

（受付販売）テニスラケット、バスケットボール等の貸出

バドミントンシャトル、プロテイン等の販売

③自動販売機の設置

管理受託施設内に自動販売機を設置し、清涼飲料水・乳飲料・アイスクリーム及び軽食類などの販売を行った。

・自動販売機の設置台数

小瀬スポーツ公園 44台（プール開放期間中は5台追加）

緑が丘スポーツ公園 10台

富士北麓公園 6台

八ヶ岳スケートセンター 4台（11月下旬から2月末まで）

本栖湖青少年スポーツセンター 4台

境川自転車競技場 2台

八代射撃場 1台

④スケート靴の斡旋

小瀬アイスアリーナ及び八ヶ岳スケートセンターにおいて、利用者にスケート靴の貸出し業務を行った。

・貸靴種目

フィギュア他3種 約800足

・貸し靴実績

小瀬アイスアリーナ

個 人 15,192足/年（前年度実績 15,166足/年）

団 体 13,619足/年（前年度実績 13,438足/年）

八ヶ岳スケートセンター

個 人 3,950足/年（前年度実績 4,399足/年）

団 体 3,913足/年（前年度実績 4,136足/年）

⑤公園利用者への還元事業の実施

小瀬スポーツ公園の利用促進と、日頃からの小瀬スポーツ公園利用者に対する還元事業として、各種イベントを実施した。

・絵画・写真コンクール・クリスマス企画（利用者へプレゼント配布）

・バレンタイン企画（利用者へプレゼント配布）

・ホワイトデー企画（利用者へプレゼント配布）

⑥福利厚生事業の支援

職員が安心して働ける職場づくりの推進を図るため、職員互助会の諸事業に対し支援を行った。

- ・ 食堂での利用券補助、職員互助会への補助

2 利用効率の向上

本協会が管理する各施設の利用効率の向上ため、公益目的以外の利用についてもサービスの向上と利用促進に努め施設の有効活用を図った。